

- (37) 白石健二, 牧野史夫, 前田忠正: プレス最小打抜径について, 沖電気時報, 第 24 卷, 1 号, 38~46 ページ (昭32)
- (38) Strasser, F. Lochstanze für dicken Werkstoff, Werkst. u. Masch.-bau. 43 Jg. Heft 7 ss. 329~ (1953)
- (39) Strasser, F. Small Punches, Sheet Metal Industries, Vol. 32, No.336, pp. 266 (1955)
- (40) Halliday, W. M. Safety Mountings for small Piercing Punches, Sheet Metal Ind. Vol.33 No.354, pp. 713~719 (1956)
- この他文献 (17), (18) あり
5. 板取り
- (41) Schachtel, F. Wirtschaftliches Ausschneiden von Blechteilen (Springer) (1958)
6. プレスセービング
- (42) Kuhlmann, E. P. Das Schabverfahren für die Fertigbearbeitung von Stanzteilen im Klein-Maschinenbau, Werkst. u. Masch.-bau. 44 Jg. Heft 4, ss. 157~162 (1954)
- (43) Preston, T. E. W. Vibrating ram shaves teleprinter parts, Metalworking Production, Vol. 102, No.10 pp. 399~406 (1958)
- (44) Loeffler, O. Further thoughts on shaving dies, pp. 1499~1500 (1953)
- (45) Stanley, F. A. Punch and Dies, pp. 179~222, McGraw-Hill, (1950)
- この他文献 (25) 2. Teil 参照.

### 第3回日本アイソトープ会議論文募集

日本原子力産業会議, 日本放射性同位元素協会と共催で, 下記要領で論文を募集しているから希望者は応募されたい。詳細は下記事務局に問い合わせられたい。

#### 記

**部門別** 理学, 生物学, 工学, 農学, 医学 (放射線障害を含む) 放射線化学, 安全取扱技術, 放射線関係機器の8部門

**内容** 各部門の基礎ならびに応用領域に属し, 既発表のものでも差支えないが, 第1回および第2回原子力シンポジウムに発表していないものであつて, なるべく完成され, 研究結果が明瞭なものであることが望ましい。

なお応募希望者は部門別, 論文題名, 所属, 住所 (別に必要あれば連絡先), 筆署名を明記して5月15日までにハガキで下記事務局へ申し込むこと。

東京都港区芝田村町1~1 日本原子力産業会議内  
第3回日本アイソトープ会議事務局  
Tel (59) 6121~4 (代) 7527(直通)

**開催日および場所** 1. 期 日 昭和34年9月14日(月)~16日(水)3日間  
2. 場 所 東京産経会館——国際ホール・5階全部

**会議の参加者** わが国のアイソトープおよび放射線についての学識経験者, 研究者, 利用者およびこれに関係を有するものと, アジア諸国ならびに海外の関係機関からの特別参加者をもつて構成する。海外の特別参加招請先は次の通り。

1. 国際原子力機関 (IAEA), 2. 米フォーラム, 3. アジア, 太平洋諸国のうちコロンボ計画に参加している国々, 4. 中華民国, 大韓民国

**会議の内容** 各部門におけるアイソトープおよび放射線に関連する基礎ならびに応用研究の成果, 利用の経験などについての発表, 討論ならびに講演をおこなう。

1. 発表と討論 (論文による発表, 口頭発表と討論) 2. 講演, 3. パネル討論, 4. 展示会

**論文の募集と選考** 1. 論文は上記「論文募集」要領により一般から公募する。  
2. 応募された論文は運営委員会が選考し, この会議の目的にてらして適当なものを採択する。  
3. 口頭発表論文は採択論文中より会議日程にてらして運営委員会が選考し, 口頭発表を依頼する。  
4. アジア側に対しても論文の提出を依頼する。